

緊急時に備えて

- ☐ 火災や地震の際の避難場所を確認する。子どもの受け渡し方法や避難場所、避難経路を確認する。
- ☐ 119番を呼ぶ際に必要となる情報(活動場所の住所、目印となる建物)を確認する。
- ☐ 緊急連絡先(依頼会員、センターなど)を控えておく。

乳児（0～2歳）の預かりの注意点

- ☐ 子どもを強く揺さぶったり、腕や足を強く引っ張らない。
- ☐ 子どもを抱いている時は、熱いものの飲食は控える。
- ☐ 子どもを寝かせる時は、固めの敷布団を準備する。
(ぬいぐるみやタオルなど、子どもの口や鼻をふさぐものは置かない)
- ☐ 寝かせる時は仰向けに寝かせ、うつぶせ寝は避ける。
- ☐ 睡眠中は、呼吸や顔色、寝方、嘔吐していないかをチェックする。
- ☐ おもちゃは誤飲しない大きさで、壊れがないか点検する。

食事の注意点

- ☐ アレルギーや、普段食べている食材、食べたことのない食材を確認し、食べる量を相談する。
- ☐ 市販の食べ物を購入する時は、子どもが普段から食べている物を用意する。
- ☐ 窒息、誤飲防止のため、食べ物を用意する時は、大きさや固さを工夫する。
(ミニトマトやぶどうなどの食べ物は、そのまま飲み込まないように小さく切る。)
- ☐ 食事は座って食べる。誤飲防止のため、子どもを驚かせる、体にぶつかるなどしないように気を付ける。

送迎や屋外での注意点

- ☐ 子どもと道路を歩く時は年齢に応じて手をつなぎ、大人が車道側を歩く。
- ☐ 屋外にいるときは、そばにいて子どもから目を離さない。
- ☐ 道路では遊ばない。屋外でのサポートでは、遊ぶ場所の確認をする。
- ☐ サポート中は会員証や所属先指定のお迎え証を所持し、求められたら提示する。
- ☐ 自転車で送迎をする場合、自転車損害賠償保険の期限や内容を確認する。
- ☐ 自転車用の幼児用座席やシートベルト、ヘルメットが壊れていないか確認し、正しく着用する。
(小学生以上の子どもを乗せることはできません)
- ☐ ベビーカーで送迎をする場合、開閉などの使用方法や故障がないか確認する。
- ☐ 公園や児童館を利用する場合、遊具の遊び方、安全確認をする。